



スイッチハンドルの接触面の状態を改善するために、銅ワッシャー(圧着端子のターミナルを切ったもの)を噛ましコパスリップを塗って見ましたが(上の写真)・・・その後・・・接点改善の「コンタクトZ」の粉末とコパスリを練り込んだもの(下の写真)を塗って見ました。



スイッチON時、バチッと火花が飛んだ音と同時に香しき焼けたにおいが・・・。



ケーブル長の関係から、キルスイッチの取り付けはこんな格好になりました。

バッテリー上のボックスは、5年ほど前に作ったホットイナズマもどきです。本家の3倍近い容量がありますが、アイドリングが安定したくらいで、その他の変化は感じません。パワーアップとか燃費の向上なんて、とてもとても・・・。